

くめじま

議会だより

2017.6.1

No.60



議会の傍聴へ行こう

次回定例会は
6月14日(水)・15日(木) 開会予定

傍聴は議会の活動や町制の動きを知るチャンスです。本会議では、町民生活に関わるさまざまな決まりごとや問題について、審議が行われます。また、一般質問では、町長の考えを聞くことができます。

今、まちづくりがどのように行われているか、町民、議会、役場(執行部)みんなで情報を共有し、協力してより良いまちづくりを進めていくためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

仲里庁舎1階にて
一般質問の様子を
テレビモニターで
ご覧いただけます。

仲里幼稚園交通安全指導教室

日時：平成29年4月14日(金)

場所：久米島町役場仲里庁舎近くの横断歩道

久米島の人口・世帯数(2017年3月末現在)

男:4,244人 世帯数:3,940世帯
 女:3,738人
 計:7,982人

3月定例会

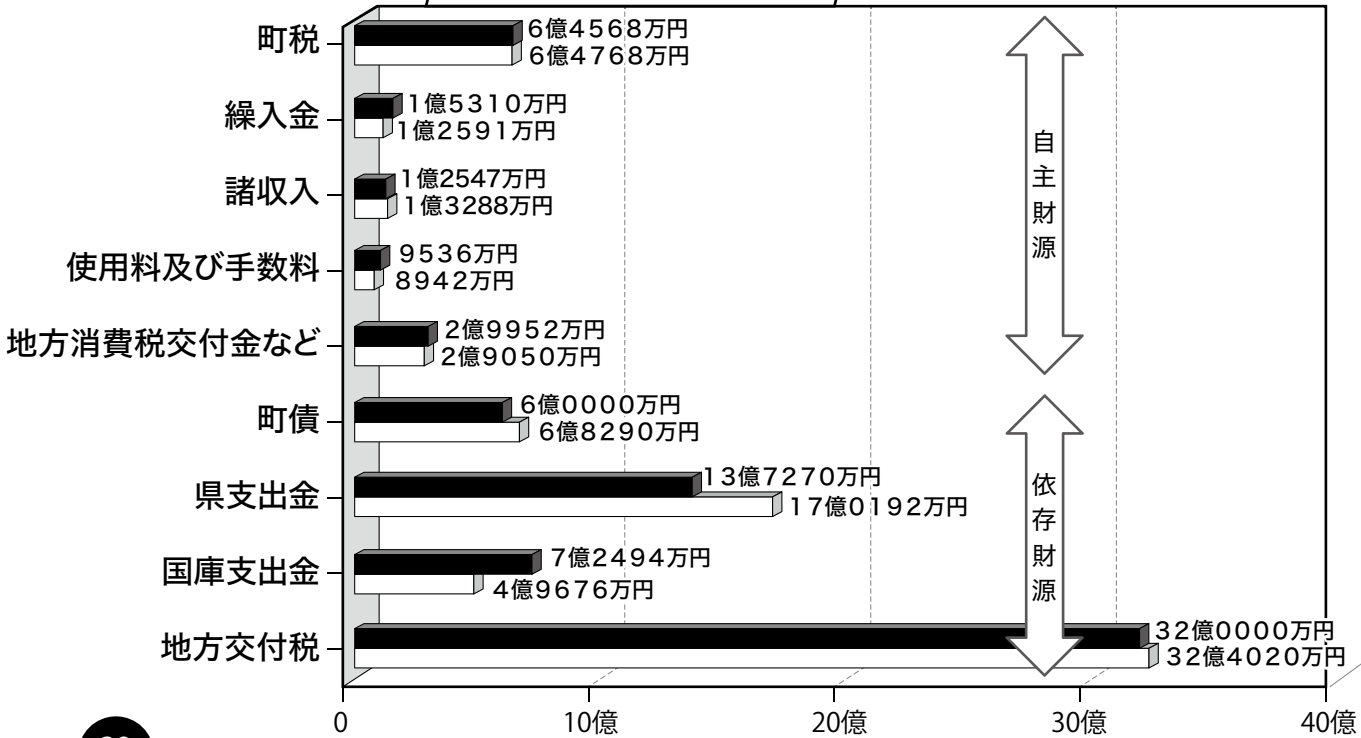
平成29年度一般会計予算	2
3月定例会で決まったこと	4
町政を問う 一般質問	5~13
意見書	14
議会のうごき	15
傍聴席より・山城篤三旭日単光章受章	16

一般会計当初予算 72億1,679万円を可決

●一般会計

■平成29年度 □平成28年度

歳入・当初予算年度比較(千円以下切り捨て)



29年度収入の特徴

収入総額に占める地方交付税の割合が44.3%を占めており、また、国や県から使い道を指定されて交付される国庫・県支出金の割合が29.4%となっています。国や県から配分、支出される財源に大きく依存していることがうかがえます。一方、町民の皆様にご納めいただく町税8.9%、財産収入や使用料、手数料などの諸収入が3.5%となっており自主財源が非常に乏しい状況となっています。今後は町税の徴収率向上など自主財源を確保するための取り組みが重要になります。

ていきます。

Q FMくめじま不感地帯について、3年が経過しても改善されていないが、今後の流れについてどのようにしていくのか。

A 現在ある防災用拡張スピーカーの柱を活用し、FMの受信ができるようなシステムができないか、防災担当課と調整を進めています。

Q 新しい火葬場の建設整備について、現状と今後のスケジュールについて伺います。

A 今月24日に建築設計が完了し、4月から工事の着工をします。関係する備品や外構、駐車場、取り付け道路も含めて、平成30年3月に完了し、4月1日の許容開始を予定しています。

■特別会計

水道事業特別会計

Q 町の上水道について、土地改良区のダム分水協定の契約数量と契約の年数はどうなっているか。

A 儀間ダムからの取水量1,600トン、水利権として、水道事業で持っており、不足する水量については、仲里土地改良区と協定を交わし取水しております。

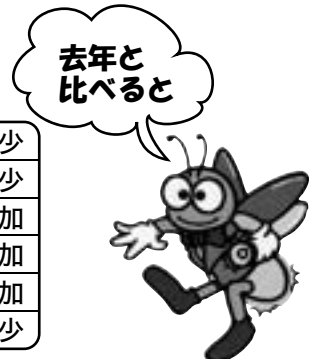
Q ダムの水質検査について、現在どんな状況か伺います。

A 農薬検査につきましては義務づけされており、毎年の検査では基準値内であるとの結果が出ています。

国民健康保険特別会計

Q 国保税の徴収率は、何パーセントか、県内で何番目に位置しているか。徴収率が下がった原因は。

A 平成27年度の徴収率が90.58%で、県内ランキングについては、40位です。又、徴収率が下がった原因につきましては、督促状、催告状、その後、調査し、差押えなどを行っていますがなかなか伸びない現状にあり、今後、徴収率の向上に向けて取り組みを強化していきます。

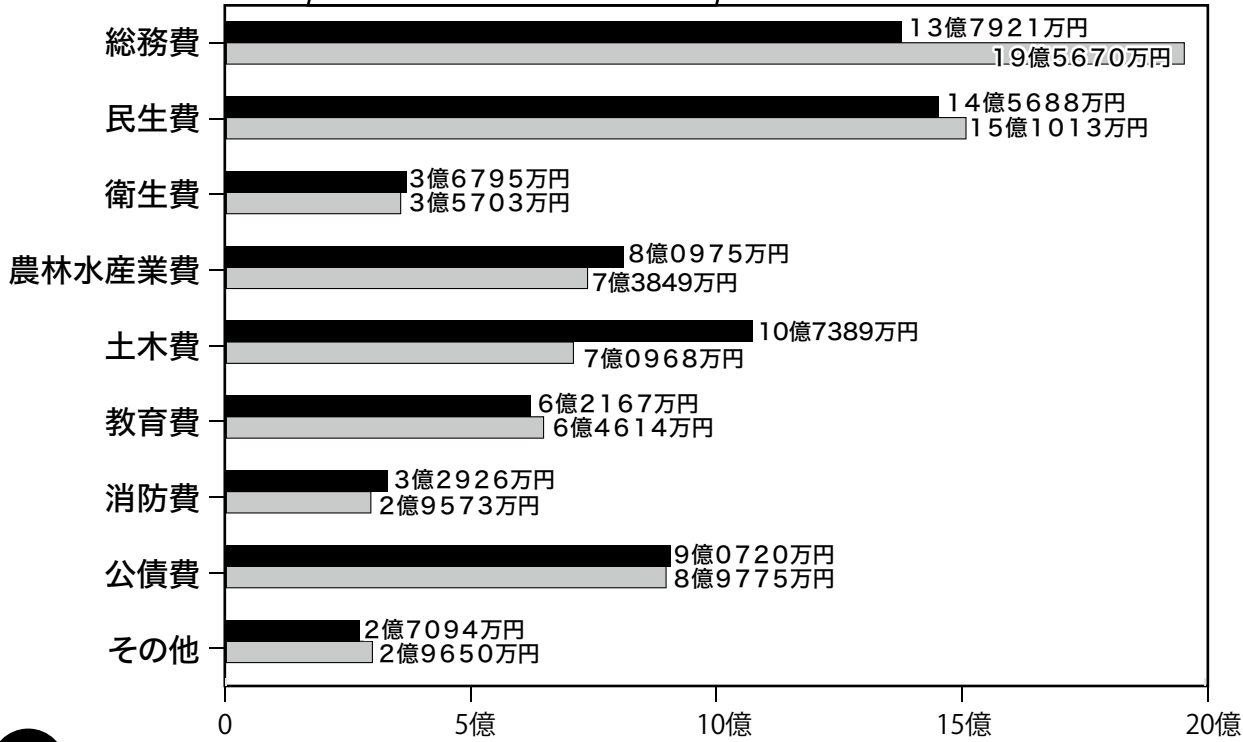


平成29年度
予算総額
93億5,526万円

一般会計	72億1679万円	-2.6%減少
国民健康保険特別会計	14億6225万円	-0.6%減少
後期高齢者医療特別会計	7,346万円	2.7%増加
下水道事業特別会計	2億8762万円	1.3%増加
水道事業会計	3億1513万円	4.7%増加
合計	93億5,526万円	-1.9%減少

●一般会計

■平成29年度 □平成28年度 歳出・目的別年度比較(千円以下切り捨て)



29年度支出の特徴

今年の歳出の内訳を見ると、福祉の充実に係る経費(民生費)が20.2%と割合が高く、次に、行政の運営経費や沖縄振興特別推進交付金事業を計上している経費(総務費)が19.1%と続いていきます。次に、建設事業等に係る経費(土木費)が14.9%、借金の返済である公債費が12.6%となっており、昨年同様、上位4項目で全体の約66.8%を占めています。

予算審査報告

予算審査は、議長を除く13人の委員で構成された特別委員会を設置し、3月14日・15日の2日間にわたって審議しました。審議の中から、主な質疑内容を報告します。

■一般会計

- Q ふるさと寄附金推進事業として、3,599万5千円を計上しているが、金額の根拠と、どのような内容か。
- A 従来どおりの項目としまして、全国離島甲子園と児童生徒遠征費への補助で、新規の項目は、ふるさとチョイス、ヤフー交付金手数料、返品品として特産品を取り扱う業者への委託料等です。
- Q 地方交付税が減額されているが、これから毎年減額されるのか、算定はどうなっている。
- A 合併して10年間は交付税を合併算定ですが、10年から15年までは段階的に落ちていき、平成29年度が激減緩和策の最終年度で、平成30年からは一本査定になり、約1億円の減額を見込んでいます。
- Q 風の帰る森プロジェクト事業は、建築については今年発注するのか。事業主体はどのようになっているのか。
- A 平成28年度に実施計画し建築も年度発注の予定でしたが、遅れたため明許繰越をして、平成29年度で実施します。
- Q 先日、火葬場の火葬設備の不具合があったが、どのような故障なのか、また、その原因についてどうなっているか。
- A 高圧線の電柱からきている引き込み線の部分で電気系統の故障による停電との報告があり、翌日には復旧しています。機器につきましては、毎年定期的に点検をして対応しています。
- Q 地産地消推進事業の現状説明と、委託等についてどのような状況になっているか。
- A この事業は3年前にNPO久米島と連携し推進してきましたが、人材の確保など運営面が厳しくなり、現在は中断している状況にあります。今後は地域おこし隊を活用し、先進地の上勝町と連携しながら推進し

3月定例会 決まったこと

平成29年3月(第1回)定例会は、3月8日から28日の21日間の日程で行われました。定例会では、29年度の予算をはじめ議案25件、報告1件、発議2件を審議し、すべて原案どおり可決されました。9日(木)、10日(金)の一般質問では9人が登壇し活発な審議が行われました。

平成28年度補正予算 ※全員賛成

- 一般会計補正予算(第7号)
84億2854万円(4734万円減)
- 国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
15億0339万円(2084万円減)
- 後期高齢者特別会計補正予算(第3号)
7459万円(51万円増)
- 下水道事業特別会計補正予算(第2号)
2億9868万円(38万円減)
- 水道会計特別補正予算(第3号)
収益的収入(585万円減)、収益的支出(585万円減)
資本的収入(増減なし)、資本的支出(1208万円減)

平成29年度予算 ※全員賛成

- 一般会計予算
- 国民健康保険特別会計予算
- 後期高齢者医療特別会計予算
- 水道事業会計予算
- 下水道事業特別会計予算
(詳しくは2~3ページをご覧ください)

条例の改正 ※全員賛成

- 久米島町個人情報保護条例及び久米島町行政手続における特定個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
行政手続における特定個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、久米島町個人情報保護条例、久米島町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例に「条ずれ及び号」ずれが生じるため、条例の改正が必要である。
- 久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
国民健康保険法施行令の一部を改正する政令(平成28年政令第400号)が平成28年12月26日に公布されたことに伴い、久米島町国民健康保険条例の一部を改正する必要がある。
- 久米島町防災会議条例の一部を改正する条例
久米島町地域防災計画の改定に伴い、多角的視点から意見を聴取し町にあった地域防災計画の策定の為に、久米島町防災会議条例を改正するものである。
- 久米島町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例及び久米島町現業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例
人事院及び沖縄県人事委員会の給与勧告等を考慮し、久米島町一般職及び町現業職の給与等を改定する必要がある。

- 久米島町課設置条例の一部を改正する条例
久米島町課の組織再編に伴い久米島町課設置条例を一部改正する必要がある。
- 久米島町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例
人事院勧告及び沖縄県人事委員会勧告、育児休業法改正の意見の申出及び勤務時間法改正をうけ、「久米島町職員の勤務時間、休暇等に関する条例」及び「久米島町職員の育児休業等に関する条例」並びに「久米島町一般職の任期付職員の採用等に関する条例」改正する必要がある。

一般審議 ※全員賛成

- 薬用作物等農産加工施設の指定管理者の指定について
現行の指定管理の期間が平成29年3月31日で終了するため、指定管理者を再指定する必要がある。
- 久米島家畜市場の指定管理者の指定について
現行の指定管理者の指定の期間が平成29年3月31日で終了するため、指定管理者を再指定する必要がある。
- 久米島町地域集会施設及び農村公園の指定管理者の指定について
久米島町地域集会施設及び農村公園条例第3条により指定管理者による管理を行うこととなっており、平成19年4月1日から平成29年3月31日までの10年間指定管理をしていたものを更に10年間更新するものであります。
- 町道の認定について
町道の路線を認定するには、道路法第8条第2項の規定により、議会の議決をえる必要がある。
- 久米島町過疎地域自立促進計画の変更について
事業内容の追加等により、計画の変更を要するため。
- 久米島町辺地総合整備計画の策定について
久米島町辺地総合整備計画の策定に伴い、議会の議決を得る必要がある。
- 阿里ゆんたく館の指定管理者の指定について
現行の指定管理の期間が平成29年3月31日で終了するため、指定管理者を再指定する必要がある。

報告

- 専決処分報告
スハラ地区水管理施設設置工事請負契約の一部変更

議員提出 ※全員賛成

- 日米地位協定の見直しに関する意見書
- 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書
(14ページ参照)



翁長 学 議員

問 和牛能力共進会

答 大きな畜産振興効果



第11回全国共進会第1次予選会

翁長 今年9月宮城県において全国和牛能力共進会が行われる。そこで町としてこの大会をどう応援しているのか。

町長 前回の長崎大会で、優秀な成績を収め、全国的に久

米島の肉用牛が高い評価を受け知名度も高くなり畜産振興を図る上で大きな効果がある。

翁長 町として関係団体に助成できないか。

町長 助成金として160万円計上している。

翁長 160万円は共進会協議に助成しているものと思うが、和牛改良組合の視察研修にも助成金を出せないか。

産業振興課長 他の団体もあり、先進地等の視察ができるのか今後財政と相談して調整したい。

企画財政課長 財政的に厳しい部分があるが支援をして行く部分もあり今後調整して考える。

翁長 個々の農家の技術向上のため町の力を借りたい。

問 競技場の計画は

答 本年度中に説明

翁長 沖縄県は近年スポーツ合宿が各市町村で行われている。

。プロ野球、実業団、学生等、本町も各団体を誘致する必要があると思う。そして楽天のキャンプが続くのか。

企画財政課長 久米島町総合運動公園の位置付けを把握し、施設の利用者数、実績、費用対効果を整理し判断材料にし、今月いっぱい調査を終える。

翁長 計画が進む中で競技場建設中に誘致計画は。

商工観光課長 駅伝とか道路を走る競技に関して誘致を行っている。

翁長 実際に足を運んだ会社、学校はあるか。

商工観光課長 久米島の環境等の資料を持参して誘致を図っている。

翁長 楽天のキャンプが続く見通しは。

商工観光課長 担当課として球団との調整等を行ない現在のところ久米島が誠意をもって受け入れている中で継続性はあると思う。



吉永 浩 議員

問 子供インフルにも助成を

答 対象範囲の拡大を検討

吉永 子育て世代にとって、

予防接種に係る経済的負担は大きい。子育て環境充実の為に子どもの季節性インフルエンザにも助成が必要と考えるが。

町長 現在は、高齢者に対する助成は行っているが、対象範囲を広げる事が可能なのか検討する。

吉永 任意予防接種の為に個人努力になる。しかし、だからこそ、個人で努力しやすい環境を町がつくるべき。子ども数が多い世帯ほど、健康管理に経済的負担が大きくなる現状、軽減策を要望する。

問 統括保健師の配置は

答 欠員補充を優先

吉永 技術職が分散配置となっている本町において、人材育成や技術職の組織横断的取り組みの為に、統括保健師の配置が必要と考えるが。

町長 必要性はあるが、欠員補充を優先すべきと考える。

吉永 補充と同時に、技術職が働きやすい体制づくりの為に、統括保健師の配置を要望する。

問 ふるさと納税の計画は

答 推進に向けて取組

吉永 今後の計画は。

町長 2月に、行政内部で推進ワーキンググループを立ち上げ、推進に向け取組んでいる。事業者への説明、運営サイト等準備して、6月～7月に向け返礼品を開始したい。

吉永 ふるさと納税の全国的認知度が高まり、寄付額が増大している自治体や、逆にお金が流出している自治体もある。体験型チケットを返礼品にして、島に直接足を運んでもらい、島の魅力を知ってもらう仕組みも検討してほしい。

自治体が寄付を積極的に集め、子育て支援など、政策的経費に集中投下していく事も併せて提案する。

ふるさと久米島応援団

あなたの寄附で
久米島は変わり
輝き続けます

東洋一の砂州・
久米島ハテの浜



饒平名 智弘 議員

問 さとうきびの振興は

答 機械化を進めていく

饒平名 本町は年々高齢化が進み、さとうきびの生産が厳しい状況にあるにもかかわらず、機械化については他の市

町村と比較すると、かなり遅れていると考える。町長は刈取りや肥培管理の機械化推進

すると言いが、ハーベスターでの刈取り実績が少ないと思われる。本町、本島、宮古、石垣、南北大東のハーベスターの刈取り実績を伺いたい。

土地が小さく機械化が進まない状況にあるのなら、土地の大区画もやる必要があると思う。農家は除草剤や農薬、肥料の補助事業があり大変助

かっているが、今回の堆肥事業は管理や散布が大変である。もっとコンパクトな堆肥があると聞いているが。

町長 ハーベスターの次年度導入台数は8台、株出管理機は13セット導入する予定で進めている。機械収穫率は県内

平均64%久米島町においては35%伊是名67%南北大東

100%宮古64%石垣78%となっている。土地の大区画は農家の高齢化に伴い農地の集約化も必要と考える。

問 バス停の整備を

答 進めたい

饒平名 本町のバス停の整備状況をどのくらい把握しているか、バス停には雨風をしごつくりの整備を進めてほしい。

町長 町内のバス停は96カ所あり上屋設置か所が12カ所、店舗等の軒下を利用できる所が8カ所残り76カ所については上屋が未設置となっている。

饒平名 バス停の整備状況は町長の答弁で理解はできますが、バスを利用するのは子供たちや年寄りである。そのためにも必要なバス停は早急に整備が必要であると思う。字

真泊のバス停はひどい状況で、さとうきびが道路にはみ出して、そこに立ってバスを待つことさえできない状況である。このバス停は真泊の高校生、中学生が通学に毎日利用するバス停なので、早急に整備をする必要があると思うが、町長がどのように考えているか伺いたい。

町長 先ほど、写真も見ましたが確かに非常に必要があると思う。

商工観光長 事業に取り組めるように、進めていきたいと考えている。



字真泊バス停

問 航空運賃低減と ダブルトラックは

答 引き続き取り組む



赤嶺 秀徳 議員



久米島空港

赤嶺 航空運賃の低減に向け、28年中に行った活動とダブルトラックの進捗状況について伺う。

町長 航空運賃の低減について、28年1月沖縄県知事要請以降、県議会と県に要請を行

い県の担当課とも事務協議を行っており引き続き取り組んでいく。また、ダブルトラックについても意見交換等を行っているが、久米島路線の利用環境が厳しく一朝一夕には済まない問題であるので、引

き続き誘致に向けて取り組んでいく。

問 後期高齢者の訪問指導は

答 委託契約を結んでもらう

赤嶺 訪問指導対象者は何名で、指導員は何名か。今後、指導員をどの様に確保するか伺う。

町長 本町の訪問指導対象者は93名である。保健師2名で訪問指導を行っている状況である。指導員の確保については、広域連合で委託契約を結んでもらう方法を考える。



仲村 昌慧 議員

問 山芋スープで活性化を

答 前向きに取り組む

仲村 本島中・北部地域で山芋スープが盛んになっている。特に、うるま市や読谷村では全島大会が開催されてすごく盛り上がっている。本町でも山芋スープを推進して地域活性化できないか。町長の見解を伺う。

町長 各字区長などの要望等も確認し、11月16日の芋の日か、12月の産業まつりで開催できるか、周知期間も含めて他市町村を参考に組み合わせる。昔も各字でそういうこともやっております。今後においても前向きに検討したい。

問 県道の補修は

答 見積もりを依頼している

仲村 昨年、県道上江洲地区の路面補修をお願いした。担当課長は県に伝えてあるとの解答であったが、未だに補修されていない。補修が遅れて

いる理由は何か。

町長 現場を調査した結果、公共下水道のマンホール周辺の沈下が原因であるため、上下水道課水道班により見積もりを依頼しているところである。



県道上江洲地区道路

問 防犯対策は

答 集落外防犯灯の整備はこの事業で検討

仲村 本年度に限り、市町村

などが街灯や防犯カメラを設置する費用を国が補助する新たな事業を設けている。県全体で街灯を約一万台。防犯カメラ約250台を設置する方針であるが、本町でも街灯や防犯カメラを設置する予定があるか伺う。

町長 区長会から要請を受けた集落外防犯灯について、この事業で整備することを検討している。防犯カメラの必要性についても警察とも協議したが、犯罪発生率や維持管理費用など総合的に検討した結果、同事業での防犯カメラ設置は計画しないこととした。

仲村 国が100%補助で県全体で14億8千万円の予算を計上しているが、防犯灯の本町への配分はいくらか。

総務課長 現在のところ実施要綱等の配布はまだされていない。市町村配分については、未だ発表されていない。



消防本部

問 消防緊急援助隊の登録は

答 取り組んでいく必要がある。



平良 弘光 議員

平良 沖縄県において、久米島町消防本部だけが登録されていない状況は早めに解消しなければならぬ。登録することにより受援態勢の強化を図ることが出来る。

町長 近年全国各地で大規模災害が発生している状況下その支援策として登録に向けて取り組んで行く必要があると考える。

問 かん害施設の整備は

答 国営事業か県営事業の導入で要請

平良 カンジングラムの豊富な水を活用して、仲村渠集落、具志川集落、比屋定地区まで、パイプラインを通して、施設を整備することは出来ないか。

町長 今回、国の方が調査にくることに決まっている。久米島一円のダムをパイプラインで結んで一元管理を推進すると共に、仲村渠具志川地区、

比屋定地区のかん水については実現に向けて強力に取り組んで行きたい。



カンジングラム

問 スポーツ施設の整備は

答 防衛予算で検討したい。

平良 将来的に実業団の陸上、駅伝選手プロのサッカーチームの誘致、また中学生、高校生、一般においての競技力の向上を図る為には競技場の整備が不可欠ではないか。

町長 他市町村の活用事例を参考に組み込んで行きたいと考えている。環境整備をやることで、スポーツコンプレックスの中で実業団の陸上選手を含め多くのチームが呼べるのではないか。

問 移住者が働ける環境整備は

答 真剣に取り組む必要がある

平良 特に学童保育には多くの要望がある。島外から来た人は、子供を預ける施設がなく今後も久米島に定住できるか不安がある。福祉課と教育委員会の連携が必要ではないか。

町長 まさにいま久米島町が非常に真剣に取り組まなければならぬ問題だと認識している。

比嘉2号線
アイランド向け道路



玉城 安雄 議員

問 歩道の整備は

答

街灯設置も含め歩行者の安全を確保する

玉城 28年度に採択された比嘉2号線(県道より久米アイランド向け道路)は車道、路肩のみの改修で歩道は含まれていないとのことだが、その経緯を伺う。

町長 設計基準上歩道は基準を満たしている。基準を満たしていない箇所は歩道も整備する予定である。

玉城 街路柵の低木の処理や街灯の設置は

建設課長 低木は撤去し歩行者の安全を確保する。街灯は別事業で設置可能か取り組む。

玉城 この道路はイーフ地区にアクセスする重要な道路である町長の見解は

町長 重要な幹線道路と認識している。イーフ地区も含め歩行者の安全対策、街灯の設置を検討する。

問 道路認定し道路の整備を

答 認定し事業導入を検討する

玉城 町道島尻1号線から農道銭田1号線に抜ける道路は、道路認定がされておらず未整備のままである。道路認定し整備する必要があるかどうか。

町長 道路認定されておらずまた耕作地が数か所しかなく補助事業での整備は厳しい。

玉城 大雨の時など道路崩壊があり、毎年補修している状況である。何らかの対策が必要である。

建設課長 現場の状況は認識している。現在実施している農業基盤整備促進事業で整備可能か検討する。

玉城 道路認定は可能か。また認定後について

建設課長 国有財産から町に譲渡されている里道であればすぐにできる。補助事業の導入も可能になる。

問 自治会からの要請の対応は

答 横の連携を密に対応している

玉城 生活道路等の軽微な補修、清掃について様々な要請があると思うが、どのような体制で確認作業を行い対応しているか。

町長 総務課で受けた場合は、各担当課と情報を共有し担当課で受けた場合は、担当課で対応している。

玉城 関連して伺う。牛セリ市場前道路の防風林の中倒木等で、荒れ放題で集落外作業にも支障をきたしている。重機で片づけるべきと思うが

環境保全課長 台風時の倒木だと思う。現場を確認し対応する。



銭田森林公園

問 銭田森林公園の整備費は

答 総合的に検討していきたい



棚原 哲也 議員

棚原 道路拡幅も計画にあつたが周辺の地権者との交渉は済んでいるか

プロジェクト推進室長 現状の道路で対応していきたい、民有地にかからない方法を考えている。

棚原 公園整備事業は町民の意見も取り入れてということですが、取り入れた計画になっているか。

プロジェクト推進室長 月1回ミーティングを重ねている。

棚原 当初計画の町の負担は2億円と聞いておりましたが、2億円で収まるか。

プロジェクト推進室長 前回2億円と回答したが、約3億円から4億円ぐらいはかかると思込んで調整している。

棚原 負担する金額が当初計画より上回るが、それよりは子ども達だけで行ける公園や学校施設を整備したほうがいいと思うが。

プロジェクト推進室長 地域の要望としてある。今後の検討になると思う。

問 仲里総合運動場の整備は

答 補助金対象となる事業を

棚原 施設全体が老朽化し破損した状態にある。早急に整備する考えはないか。

町長 補助金対象となる事業を模索し検討している。

棚原 仲里総合運動場は地域での活用は、効果的に使用されている。早めに整備を。

町長 調査をいれながら進めていきたい。



仲里総合運動場

問 高速船の導入は

答 協議が必要

棚原 施政方針の高速船の導入については

町長 アンケート調査では、9割が高速船必要であるとの結果がでているので高速船に対し建造支援が受けられるように働きかけていく。

他にもこんな質問

問 海洋深層水施設増設の
目処は

問 日台日中漁業協定は



盛本 實 議員

問 久米島を救う「久米島モデル」の早期実現を

答 29年度に調査を開始

盛本 本町としては、海洋深層水の利活用による「久米島モデル」事業の効果を、経済効果約65億円／年、雇用創出推定約1000名を想定して計画を進めている。就職口が少なく閉塞感が漂う現状の久米島にとってはまさに救世主的な事業であり町民の期待度も大きい。同事業の早期実現に向けてどの様に取り組んでいるのか。

町長 29年度より調査事業を導入し、「国際海洋資源エネルギー利活用コンソーシアム」を中心に、事業のメインとなる「10万トン取水管敷設」に向けて取り組む。

問 久米島高校の受け入れの対策は

答 施設改修・財源確保に努める

盛本 宿泊施設と町営塾（久米島学習センター）を兼ね備え

た交流学习センター「じんぶん館」の充実に伴い、全国各地から離島留学希望者が年々増えている状況にある。今後も更に増え続ける事が想定されるが、受け入れ施設の確保及び学習センターの維持コストの財源確保は可能か。また、留学生を受け入れた事による効果はどの様なものがあるのか。

町長 受け入れ施設については、現施設の一部改修により対応は可能である。また、学習センターについては赤字運営を強いられるが、目に見えない波及効果が大きい。今後とも同制度を持続可能にしていく為に財源確保については鋭意努力して行く。

教育長 表現力、発表力等々、総合学習の中において離島留学生が島の子ども達へ与えた影響が顕著に表れている。今後はその他学習面においても効果が出るように、久米島高校の魅力化と発展を考える会・

学校・行政も含めて三者間の連絡を強化し対応して行く。



じんぶん館

他にもこんな質問

問 海洋深層水商品のブランド化は

問 移住定住は

日米地位協定の見直しに関する意見書

我が国には、日米安全保障条約に基づく日米地位協定によって、31の都道府県に131施設、約9万8千ヘクタールの米軍基地施設が所在している。

米軍基地を抱える全国の町村は、我が国の防衛、安全保障の一翼を担う一方、米軍基地の存在による住民生活への過重な負担を抱えている。

特に、全国の米軍専用施設の約71%を占める沖縄県においては、米軍基地から派生する事件・事故や航空機騒音、環境問題、並びに米軍人・軍属等による犯罪が、戦後71年を経た今日においてもなお後を絶たず、地域住民の生活に多大な影響を及ぼしている。

日米地位協定は、日米を取り巻く安全保障体制や我が国の社会環境が大きく変化しているにもかかわらず、昭和35年に締結されて以来、50年以上もの間、1度も改正されていない。

これまで運用改善や環境補足協定の締結がなされてはいるものの、米軍基地から派生する様々な事件・事故等から国民の生命・財産と人権を守るためにはまだ不十分で、根本的な解決のためには日米地位協定を抜本的に見直す必要がある。

よって、日米地位協定を抜本的に見直しされるよう、強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年3月28日

久米島町議会議長 幸地 猛

あて先 内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、内閣官房長官、
沖縄及び北方対策担当大臣、外務省沖縄特命全権大使、沖縄防衛局長

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

地方分権時代を迎えた今日、地方公共団体の自由度が拡大し、自主性及び自立性の高まりが求められる中、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が格段に重くなっている。

また、地方議会議員の活動も幅広い分野に及ぶとともに、より積極的な活動が求められている。

しかしながら、一昨年実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。

こうした中、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにすることが、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考える。

よって、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年3月28日

久米島町議会議長 幸地 猛

あて先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、
財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣

■平成29年 2月 ■■■■■■

- 1日・楽天球団との会食副議長出席
- 3日・農業委員会新制度移行要請議長出席
- 4日・久米島紬フェアー及び祝賀会議長出席
- 9日●広報委員会
 - ・久米島黒毛和牛繁殖農家代表、関係者との意見交換会に議長及び副議長出席
- 10日・介護保険広域連合議会全員協議会に議員出席
 - ・後期高齢者医療広域連合議会定例会に議員出席
- 11日・仙台マイチーム協議会との懇親会に議長出席
- 14日・航空自衛隊抗議行動(車エビ影響)要請
- 16日・県議会「那覇市・南部離島選出区」選出議員との行政懇談会に議長出席
- 17日・議会活性化委員会の行政視察に議長ほか議員出席
- 20日●議員全員協議会
- 21日・沖縄県町村議会議長定期総会に議長出席
- 22日・第46回沖縄県町村議会議長会定期総会へ正副議長出席
 - ・本会第8回定期総会及び研修会に議長ほか議員出席
- 23日・町村議会議員・事務局職員研修会に議長ほか出席
 - ・後期高齢者医療広域連合議会定例会に議員出席
- 24日・介護保険広域連合議会定例会に議員出席
- 27日・南部広域市町村圏事務組合議会定例会に議員出席

■平成29年 3月 ■■■■■■

- 1日・久米島高校卒業式議長ほか出席
- 2日●議会運営委員会
 - ・離島留学生報告会に議長ほか出席
- 3日●議案研究会・議会活性化特別委員会
- 7日・ふるさとづくりパネルディスカッション及び懇親会に議長出席
- 8日●3月定例会(議案審議)

- 9日●3月定例会(一般質問)
- 10日●3月定例会(一般質問)
- 12日・町立中学校卒業式に議長ほか出席
- 13日●議会議員(現場調査)・タブレット講習会
- 14日●予算特別委員会
- 15日●予算特別委員会
- 19日・若茶良久米島公演に議長ほか出席
- 23日・町立小学校卒業式に議長ほか出席
- 27日・埼玉県東松山市議会議員視察に議長出席
- 28日●議会運営委員会
 - 3月定例会(閉会)
- 29日・うるま市議会議員視察に議長出席
- 30日・離島医療組合議会に議員出席

■平成29年 4月 ■■■■■■

- 6日・春の交通安全運動議長ほか出席
 - ・じんぶん館入寮式に議長出席
- 10日・仲里小学校・球美中学校の入学式に議長ほか出席
- 12日・ICTまちづくり推進会議に議長出席
- 14日・美ら海基金関係者懇親会に副議長出席
- 17日・にっぽん丸歓迎セレモニーに議長出席
- 20日・久米島町老人クラブ連合会第16回定期総会に議長出席
- 21日●議会活性化特別委員会
 - 議員全員協議会
 - ・新任教職員歓迎会に議長ほか出席
- 24日・内閣府久米島島内視察に議長参加
 - ・平成28/29年期製糖修了式及び懇親会に議長ほか出席
- 26日・久米島まつり実行委員会に議長出席
- 27日・南部町村長議会議長連絡協議会役員会、定例会、研修会に議長出席
 - ・南部離島町村長議長連絡協議会定例会に議長出席
- 28日・南部地区市町村議会議長会理事会に議長出席
 - ・沖縄県町村議会議長会理事会に議長出席
 - ・沖縄振興拡大会議に議長出席

傍聴席より



平成29年3月8日
(水)に清水小学校6
年生30人と引率2人
の先生方が議会傍聴
に訪れ、一般質問を
傍聴しました。

実際に議員が行政
に一般質問している
場を、真剣な表情で
見学した児童たちか
らは「こうやって久
米島のことをよく話
し合いをしているこ
とがわかった」「選挙
で選ばれた議員さん
は、よく住民の意見
を集めていることが
わかった」「将来、町
の役場で仕事をして
みたい」などの感想
があり、久米島町の
政治に関心を持ち、
議会の役割を学ぶ場
となりました。



おめでとぅ
ごぞいいます

旭日単光章受賞

山城 篤三さん
おめでとぅごぞいいます



地方自治功労者に対し授与される
高齢者叙勲で山城篤三さん(字謝名
堂)が旭日単光章を受章されました。
3月6日県庁で叙勲伝達式が行わ
れ、叙記と勲章を授与されました。
山城さんは、昭和61年9月仲里村
(現久米島町)議会議員に初当選し
て以来、5期17年の永きにわたり議
会活動に精励され、また、旧仲里村
商工会理事・監事を歴任し、地域産
業の振興発展、教育、文化、福祉の
推進に尽力されました。
この度の輝かしい受章に心からお
祝い申し上げます。

編集後記

以前、生活保護世帯の
子が大学入試に合格し
たが、期限までに入学金
を納めなければ入学金
を納めないという相談を受
けたことがある。結局、
その子は経済的理由で
大学進学を諦める結果
となった。私が力になっ
てあげられなかったこ
とを、今でも心が痛む。

豊見城市が、生活保護
世帯で大学進学する学
生を対象に、返済義務の
ない給付型奨学金制度
を始める。また、今帰仁
村も検討している。本町
もぜひこの制度を導入
してほしい。

(仲村)

広報委員

仲村 昌 慧
崎村 正 明
翁長 智 学
饒平 智 弘
吉永 浩